

平成 28 年度定時社員総会

(第 9 期総会)

日 時 平成 28 年 6 月 16 日 (木) 16 時 00 分より

場 所 東京ガーデンパレス 「天 空」

東京都文京区湯島 1-7-5

一般社団法人

日本コンクリート防食協会

日本コンクリート防食協会
平成28年度定時社員総会
(第9期総会)

総会議事次第

1. 開会のことば

2. 定足数の報告

3. 会長挨拶

4. 議長選出

5. 議事録署名人選出

6. 議案審議

第1号議案 平成27年度(第8期)事業報告書承認の件

第2号議案 平成27年度(第8期)収支決算書承認の件

第3号議案 平成28年度(第9期)事業計画案審議の件

第4号議案 平成28年度(第9期)収支予算案審議の件

第5号議案 役員辞任・交代承認の件

第6号議案 名誉会員称号授与の件

その他必要と認められる件

7. 閉会のことば

第1号議案

平成27年度（第8期）事業報告書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

1. 定時社員総会

・平成27年6月20日（木）14:00～ 東京ガーデンパレス「平安」

出席社員数 56社・団体、委任状 138社・団体 計 194社・団体

平成27年4月1日現在の正会員数：第1種正会員 15団体、第2種正会員 211社、
合計 226社・団体（賛助会員 10社）

2. 理事会

理事会は、開催を2回／年程度を計画した。

◇ 第1回目は、総会に先立ち、総会に付議する事案の事前審議を行った。

平成27年6月20日（木）12:00～ 東京ガーデンパレス「白鳳」

◇ 第2回目は、特に審議に付すべき事案がなく、11月に事業及び収支等の中間状況を書類により報告し、理事会に代えた。

3. 常任理事会

開催は6回／年程度を計画した。

◇ 結果は、6回（4・7・9・11・2・3月）開催し、事業について進捗確認と検討及び審議を行った。

◇ 日本下水道協会「下水道管路施設腐食対策の手引き（案）」の改定調査委員会に、委員1名を派遣した。

◇ 国土交通省の「インフラメンテナンス国民会議（仮称）」の設立に向けた意見交換会に、本協会より五箇会長と三品特別顧問を派遣することとした。

・第1回意見交換会 11月27日開催

* 「インフラメンテナンス国民会議（仮称）」の設立目的の概要（国土交通省案内文より抜粋）

「日本再生戦略-改定」（平成27年6月30日閣議決定）等において、インフラメンテナンス産業の育成・活性化を図るため、産官学が総力を挙げてこれに取り組むプラットフォームとすることとしている。示された青写真（概要イメージ）は、以下の5項目からなる。

1. メンテナンス市場への対応（国内予測：推定約5兆円、世界予測：推定約200兆円）

2. ビジネスチャンスの創出

インフラメンテナンスに関する自主的な勉強会、交流会をも国民会議が一定条件で認定し、活動を支援

3. インフラメンテナンスの技術開発の生産性革命

① 技術開発のスピードアップ

② 技術革新（イノベーション）の場の提供と必要に応じた資金調達の支援

4. メンテナンス技術の限界突破

例：現有技術の性能向上など新しい技術などに限定しない

5. メンテナンスのメジャー化（表彰制度）の創設

① インフラメンテナンスについて、優れた取組み、技術開発を対象

② メンテナンス技術の活用促進（NETIS登録技術など）

4. 業務委員会

- (1) 日本下水道事業団（以下、JS）「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（以下、防食技術マニュアル）」改訂への技術協力。

◇ JS 主催で開催される「コンクリート腐食対策技術勉強会」に、本協会から各工法部会長と特別顧問、事務局から計 5 名が参加し、防食技術マニュアル改訂に向けての技術協力を行った。

*平成 27 年 10 月第 1 回勉強会開催 計 4 回開催（28 年度継続）

注）勉強会参加団体：日本下水道事業団（JS）、下水道事業支援センター、日本コンクリート防食協会、防食シートライニング工法協会、シートライニング工法（光硬化型）研究会の 5 団体。

- (2) JS の防食技術マニュアル改訂に並行して、防食工事の施工・品質管理の手引き（案）の改訂の検討を開始する。

◇ JS の防食技術マニュアル改定が遅延のため、目次案の検討とコンクリート防食技術委員会開催スケジュール等の検討に留まった。

- (3) 建設業法改訂検討中の国土交通省への防食工事明確化に向けた対応（建設業種区分への採用）

◇ 国交省に動向がなく、対応できなかった。

- (4) 積算基準の適正化への対応

コンクリート防食工事の積算基準を検討している日本下水道協会の他、主要事業体への適正な積算基準化への働きかけの実施と、協会独自の基準作成に向けた検討を開始する。

◇ 準備を始め、積算対象項目は防食技術マニュアル改定に反映するよう提案した。

具体的な作成は、次年度繰越となった。

5. 部会活動

- (1) 塗布型ライニング工法部会

1) 工法部会幹事会開催年 2 回程度を計画し、1 回開催した。

2) 技術委員会：必要に応じ適宜開催を計画し、1 回開催した。

3) 幹事会、技術委員会では、以下の事項を検討した。

- ① JS の防食技術マニュアル改定に向けた提案事項の検討

◇ 塗布型ライニング工法のクロス型（補強材積層型）とノンクロス型の区分について

- 検討の結果、クロス型とノンクロス型の区分の必要が無いと考えられるため、従来どおりの区分とすることとした。

- ② 専門技術者の資格要件について

◇ 認定資格制度専門委員会の要請により、専門技術者の資格要件について検討し、塗布型ライニング工法部会としての意見として、当面現行どおりの上申を行った。

- 4) 積算基準の検討作成

◇ 施工に係る項目（仮設～施工～検査等）の標準化を図ることを目標とした。

近年防食工事が補修中心となっており、積算から漏れている項目（足場・端部処理・検査費用等）について積算歩掛かりを確立するため、検討を行ったが期限内に結論が出ず、引き続き検討することとした。

(2) モルタル工法部会

1) 技術委員会

年2回定期開催（9月、3月）を予定し、2回開催した。

① 10月13日開催

◇ 下水道構造物のコンクリート腐食対策技術 JIS 化（JIS A 7502 制定）後の協会対応を報告

◇ コンクリート防食技士制度の運用について意見交換

② 3月22日開催

◇ 防食技術マニュアルの運用上の課題を討議

◇ コンクリート防食技士制度の見直し方針について討議

2) 認定資格専門委員会に委員を派遣し、コンクリート防食技士資格制度の運営に協力する。

◇ 東京・大阪・福岡会場での更新講習・新規取得講習に講師を派遣した。

◇ 現制度の見直し、新たな仕組み作り等に対し、部会意見を集約した。

3) セミナー等の協会活動の企画・立案に協力する。

◇ セミナー等の計画無く、活動実績なし

4) 腐食対策技術（防食技術）の JIS 制定に伴う、各種マニュアル・指針改訂の動きに対し、必要な検討・協力を行う。

◇ JS の防食対策技術勉強会に参加し、現行マニュアルの改善点、JIS 化対応の課題等の意見のほか、モルタル工法の新設工事への適用を提案した。

(3) シートライニング工法部会

1) コンクリート防食技士（シートライニング工法）資格制度

◇ 平成 27 年 9 月に、東京・大阪・福岡会場での更新講習・新規取得講習に講師を派遣した。

2) JS 防食マニュアル改定関連

◇ JS 主催のコンクリート腐食対策技術勉強会に委員を派遣した。

3) 保証条件の検討

◇ 保証条件を第 2 四半期までに整理し、外部他団体との意見交換を今年度中に行う計画であったが活動が遅延し、次年度に繰り越しとなる。

4) その他

◇ 各シートライニング工法の工法仕様、品質管理等の調査・研究の成果を今年度中に取りまとめを計画し、情報収集を行った。取りまとめは次年度に繰り越した。

6. 専門委員会活動

(1) 広報専門委員会

1) 協会ホームページの一層の充実

会員への有益な情報発信及び業界関係者への協会活動の認知度向上、広報効果を図る。

◇ 『WHAT, S NEW』欄は、『コンクリート防食技士』の合格者の掲載や協会及び関連業界の情報及び協会の行事予定等の最新ニュースを逐次、刷新し発信した。

◇ 『コンクリート防食工事の賠償責任保険制度』の会員募集をはじめ、協会及び関連業界・団体の各種研修会、講習会、セミナー等の案内、試験結果の公表等を掲載、発信した。

2) メールマガジンの定期配信

タイムリーな情報を逐次、発信。会員間の情報交換を活発化を図る。

◇以下の情報を発信した

- ① J I S 冊子本販売開始の案内
- ② 管更生研修会の案内
- ③ 定時社員総会の出欠連絡についての案内
- ④ 管路更生修繕セミナーの案内
- ⑤ 『コンクリート防食技士』の講習会・検定試験の案内
- ⑥ 『マイナンバー制度』についての説明資料送信
- ⑦ 『下水道管路施設の腐食点検・調査技術』に関するアンケート調査のお願い。

3) セミナー開催等の企画及び広報活動

- ① 「防食技術の JIS」の制定に伴う、広報活動及び準備。
- ② 関連業界の新技术（JIS 等）や研修等のセミナー開催広報活動および開催準備。
 - ◇ JIS 冊子本の販売および購入方法等の広報活動は、ホームページやメールマガジンの配信で行った。
 - ◇ 研修等のセミナーは、JS 防食技術マニュアル及び施工・品質管理の手引きの改訂に併せて開催することとしたため、当年度は実施しなかった。

4) 広報活動の充実

- ① 協会広報誌の完成、配布。
- ② 知名度・認知度向上のため、業界誌等に技術投稿並びに広告等を逐次掲載。
 - ◇ 広報誌は作成できなかった。
 - ◇ 12月2日付『日本下水道新聞』に JIS 発刊の座談会記事と五箇会長の防食業界の針路についてのインタビュー記事が掲載された。
その他『日本下水道新聞』、『防水ジャーナル』、『A・R・S』等に記事、技術提案記事、広告等を掲載した。

(2) 認定資格専門委員会

1) 事前講習会・認定試験の実施

開催地：福岡・東京・大阪で開催した。結果は、下表のとおり。

表. コンクリート防食技士試験結果

種別	福岡			大阪			東京			計			
	受検者	合格者	合格率										
新規	塗布型	27	12	44.4	23	9	39.1	37	14	37.8	87	35	40.23
	シート	12	2	16.7	—	—	—	2	2	100	14	4	28.57
	モルタル	6	2	33.3	—	—	—	1	1	100	7	3	42.86
追加	シート	11	11	100	13	13	100	13	12	92.3	37	36	97.3
	モルタル	11	11	100	16	13	81.3	19	18	94.8	46	42	91.3

注) 初年度（平成 21 年）からの合格者延人数

塗布型ライニング：468 名、シートライニング：126 名、モルタルライニング：136 名

2) 更新講習会の開催

◇平成 22 年度資格取得者を対象に、福岡・東京・大阪の 2 会場で開催した。

3) 講習会、試験内容の充実

顧問の先生のご指導を仰ぐなど、制度のレベルアップを計画したが、実施に至らず。

4) コンクリート防食診断士（仮称）資格の制度化

◇当該資格取得のメリット、役割、受験資格等、制度の骨子を検討し、常任理事会で検討を進めたが、国土交通省の「民間技術の活用」の運用がはじめられたことで、それに対応できる制度への転換を図ることとした。

ただし、「民間技術の活用」は、主として管路施設の調査診断を対象としているため、関係他団体との協力関係が必要となるため、引き続き検討を進め国土交通省のニーズに対応するよう検討することとした。

5) コンクリート防食技士制度の制度設計の見直し

◇本制度が社会的ニーズに適合し、かつ、受験者の負担軽減等を図ることなどを目的に見直しについて検討した。

次年度中の見直しを目標に、次年度継続して検討することとなる。

(3) 技能検定専門委員会

平成 26 年度に実施した意向調査結果に基づき、今後の基本的な方針を検討する。

1) 継続開催の可否

◇基本的には、継続するものとし、毎年受験希望状況のアンケート調査を行い、一定人数の確保が可能な場合は実施することとした。27 年度は、一定人数が確保できた兵庫県（11 名受験）で開催した。

2) 継続開催する場合の、開催方法や開催頻度等（他団体との共同開催など）

◇樹脂ライニング工業会が、東京都での受け入れが了承されたため、お願いすることとした。ただし、27 年度は、本協会に受験希望者がなかった。

(4) 賠償保険制度専門委員会

本保険制度は、発足し 4 年が経過し、保険会員及び保険加入件数も増加傾向にある。（表 - 2）

本保険制度の周知徹底を図るため、国土交通省や日本下水道事業団に対し、防食工事への賠償責任保険加入の義務化を働きかけを実施し、検討されることが確認された。

また、賠償保険への加入を条件に発注される場合は、保険料は積算対象とするよう働きかけた。

表 - 2 保険会員及び個別保険加入状況

年 度	保険会員数（社）	個別保険加入件数（件）
平成 24 年度	11	11
平成 25 年度	17	16
平成 26 年度	19	17
平成 27 年度	25	29

(5) 防食技術規格化準備委員会

1) JIS A 7502 下水道構造物のコンクリート腐食抑制技術の普及活動

JIS A 7502 の制定に伴い、日本下水道事業団（以下 JS）、日本規格協会（以下、JSA）等、関係機関との協議の上、説明会等を実施し、普及を図る。（広報委員会との連携）

◇ JS の「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」（日本下水道事業団編著）が改訂されることとなったため、普及活動を延期した。

2) 国際標準化に関する準備業務

JS、JSA 等、関係機関との協議の上、制定された JISA7502 の英文版等、国際展開のための方針を定め、実施する。

◇ JS 等の関係機関と、制定された JISA7502 の英文版等、国際展開について協議を行ったが、時期尚早とのことから実施を延期した。

6. 会員の異動

会員種別	前年度総会時 (2015年4月1日現在)	本総会時 (2016年3月31日現在)	増減
第1種正会員	15団体	15団体	0社
第2種正会員	211社	215社	4社
賛助会員	10社	9社	-1社
合計	236社(団体)	239社(団体)	3社

1) 新規入会会員（第2種正会員）

(敬称略)

会員名	代表者名	所在地	会員名	代表者名	所在地
(株)富士フロンティア	小山隆二	千葉県市川市	(株)末廣興業	阪 幸樹	大阪府大阪市
(株)ケルビン	稲村 孝	東京都千代田区	今別府産業(株)	庵 芳孝	鹿児島県鹿児島市
(株)シーピーテック	塩谷 司	秋田県秋田市	北日本水研(株)	貝沼泰造	新潟県新潟市
積水化学工業(株)	福井一晃	東京都港区	大阪設備管理(株)	中尾 浩	大阪府堺市
(株)ダイヤモンド	福嶋 浩	山口県防府市	(株)トキト	時任一徳	大阪府堺市

2) 退会会員

* 第2種正会員

・ 光興業(株)・(株)鈴木乃防水耐火板・(株)リンペイ・米子ガス産業(株)・(株)奥崎工業所・(有)手嶋防水

* 賛助会員

・ 中村塗料販売(株)

第 2 号議案

平成 27 年度（第 8 期）収支決算書

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 収支計算書 | 9 ページ |
| 2. 正味財産増減計算書 | 10～11 ページ |
| 3. 貸借対照表 | 12 ページ |
| 4. 監査報告書 | 13 ページ |

収 支 計 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日(決算)まで

事業名: 事業全体

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入				
入会金収入	(600,000)	(450,000)	(150,000)	
入会金収入	600,000	450,000	150,000	
会費収入	(10,310,000)	(10,035,000)	275,000	
会費収入	10,110,000	9,900,000	210,000	
臨時会費収入	200,000	135,000	65,000	
事業収入	(9,365,000)	(10,509,080)	(△ 1,144,080)	
認定資格試験講習・受験料収入	3,300,000	4,405,480	△ 1,105,480	
技能検定試験講習・受験料		543,400	△ 543,400	
実技試験費補助収入		218,900	△ 218,900	
新規事業収入	500,000	0	500,000	
保険料預り金収入	2,730,000	2,376,610	353,390	
取扱手数料収入	2,835,000	2,964,690	△ 129,690	
雑収入	(260,850)	(499,701)	(△ 238,851)	
受取利息収入	850	1,457	△ 607	
雑収入	260,000	498,244	△ 238,244	
事業活動収入計	20,535,850	21,493,781	△ 957,931	
事業活動支出				
事業費支出	(9,358,450)	(9,174,483)	(183,967)	
人件費支出	1,800,000	1,600,000	200,000	
總會費支出	1,300,000	1,385,532	△ 85,532	
会議費支出	400,000	383,101	16,899	
旅費交通費支出	550,000	760,356	△ 210,356	
諸会費支出	155,000	171,000	△ 16,000	
広告宣伝費支出	800,000	500,040	299,960	
印刷製本費支出	250,000	49,680	200,320	
会誌費支出	30,000	0	30,000	
雑支出	100,000	20,000	80,000	
認定資格試験講習・受験支出	1,500,000	1,394,084	105,916	
技能検定試験講習・受験支出	0	847,910	△ 847,910	
新規事業支出	350,000	0	350,000	
保険料預り金支出	2,123,450	2,062,780	60,670	
管理費支出	(9,641,080)	(8,830,400)	(810,680)	
人件費支出	4,200,000	3,672,520	527,480	
法定福利費支出	600,000	624,335	△ 24,335	
事務所賃借料支出	2,566,080	2,566,080	0	
旅費交通費支出	200,000	62,210	137,790	
通信費支出	350,000	322,011	27,989	
事務用品費支出	100,000	69,169	30,831	
什器備品費支出	760,000	864,934	△ 104,934	
図書新聞費支出	20,000	3,200	16,800	
租税公課支出	85,000	70,000	15,000	
事務委託費支出	400,000	396,365	3,635	
支払手数料支出	280,000	97,176	182,824	
雑支出	80,000	82,400	△ 2,400	
事業活動支出計	18,999,530	18,004,883	994,647	
事業活動収支差額	1,536,320	3,488,898	△ 1,952,578	
II 投資活動収支の部				
投資活動収支額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
財務活動収支額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	1,536,320	3,488,898	△ 1,952,578	
前期繰越収支額	5,006,185	2,226,379	2,779,806	
次期繰越収支額	6,542,505	5,715,277	827,228	

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日(決算)まで

法人名: 一般社団法人日本コンクリート防食協会

事業名: 事業全体

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
計上増減の部			
経常収益			
受取入金会金	(450,000)	(400,000)	(50,000)
受取入金会金	450,000	400,000	50,000
受取会費	(10,035,000)	(9,985,000)	(50,000)
受取会費	9,900,000	9,875,000	25,000
受取臨時会費	135,000	110,000	25,000
事業収益	(8,132,470)	(5,614,470)	(2,518,000)
認定資格試験講習・受験料	4,405,480	3,406,320	999,160
技能検定試験講習・受験料	543,400	0	543,400
実技試験費補助	218,900	0	218,900
取扱手数料	2,964,690	2,208,150	756,540
雑収益	(499,701)	(451,392)	(48,309)
受取利息	1,457	792	665
雑収入	498,244	450,600	47,644
経常収益計	19,117,171	16,450,862	2,666,309
経常費用			
事業費	(7,111,703)	(4,854,525)	(2,257,178)
人件費	1,600,000	1,300,000	300,000
総会費	1,385,532	1,177,203	208,329
会議費	383,101	98,502	284,599
旅費交通費	760,356	229,145	531,211
諸会費	171,000	235,000	△ 64,000
広告宣伝費	500,040	482,760	17,280
印刷製本費	49,680		49,680
認定資格試験講習・受験費	1,394,084	1,232,881	161,203
技能検定試験講習・受験費	847,910	23,520	824,390
雑費	20,000	4,932	15,068
管理費	(8,830,400)	(9,220,715)	(△ 390,315)
人件費	3,672,520	4,002,520	△ 330,000
法定福利費	624,335	569,225	55,110
事務所賃借料	2,566,080	2,566,080	0
旅費交通費	62,210	399,480	△ 337,270
通信費	322,011	282,163	39,848
事務用品費	69,169	53,095	16,074
什器備品費	864,934	723,146	141,788
図書新聞費	3,200	7,800	△ 4,600
租税公課	70,000	70,000	0
事務委託料	396,365	370,246	26,119
支払手数料	97,176	126,960	△ 29,784
雑費	82,400	50,000	32,400
経常費用計	15,942,103	14,075,240	1,866,863
評価損益等調整前当期経常増減額	3,175,068	2,375,622	799,446
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,175,068	2,375,622	799,446

正味財産増減計算書(2)

平成27年4月1日から平成28年3月31日(決算)まで

法人名: 一般社団法人日本コンクリート防食協会

事業名: 事業全体

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	3,175,068	2,375,622	799,446
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	248,849	△ 2,126,773	2,375,622
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	3,423,917	248,849	3,175,068
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	
III 正 味 財 産 期 末 残 高	3,423,917	248,849	3,175,068

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位: 円)

	科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I	資 産 の 部			
	流 動 資 産			
	現 金 預 金	5,897,895	2,388,639	3,509,256
	現 金	205,350	114,516	90,834
	普 通 預 金	5,692,545	2,374,123	3,318,422
	流 動 資 産 合 計	5,897,895	2,388,639	3,509,256
	固 定 資 産			
	そ の 他 固 定 資 産			
	保 証 金	50,000	50,000	
	そ の 他 固 定 資 産 合 計	50,000	50,000	0
固 定 資 産 合 計	50,000	50,000	0	
資 産 合 計	5,947,895	2,438,639	3,509,256	
II	負 債 の 部			
	流 動 負 債			
	未 払 い 金	166,178	145,820	20,358
	前 受 金			0
	預 り 金	16,440	16,440	0
	保 険 料 預 り 金	2,341,360	2,027,530	313,830
	流 動 負 債 合 計	2,523,978	2,189,790	334,188
負 債 合 計	2,523,978	2,189,790	334,188	
III	正 味 財 産 の 部			
	一 般 正 味 財 産	3,423,917	248,849	3,175,068
	正 味 財 産 合 計	3,423,917	248,849	3,175,068
	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	5,947,895	2,438,639	3,509,256

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本コンクリート防食協会の平成 27 年度決算報告書及び会計書類について、平成 28 年 5 月 25 日に監査した結果、顧問税理士の指導に基づき適正に処理されていることを確認しましたので、ここに報告いたします。

平成 28 年 6 月 16 日

監 事

ナルクート工業会
成瀬 圭弘



監 事

下水道防食協会 三枝 賢次 氏、

平成 27 年 12 月 31 日付けをもって、退任届け提出につき不在

第3号議案

平成28年度事業計画（案）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1. 定時社員総会
 - ・平成28年6月16日（木）16:00～ 東京ガーデンパレス「平安」
2. 理事会
 - ① 開催予定：2回／年程度
ただし、理事会に付議する事項が生じた場合に召集するものとし、付議事項がない場合は書類による報告とする。
 - ② 第1回：平成28年6月16日（木）14:00～ 東京ガーデンパレス「白鳳」
3. 常任理事会
 - ① 開催予定：6回／年程度 ただし、必要に応じ適宜開催とする。
 - ② 国土交通省の「インフラメンテナンス国民会議（仮称）」の設立に向けた意見交換会に引き続き参画していく。
 - ③ 日本下水道協会「下水道管路施設腐食対策の手引き（案）」の改定調査委員会に、委員1名を前年度に引き続き派遣する。
4. 業務委員会
 - 1) 日本下水道事業団（以下、JS）「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」（以下、防食技術マニュアル）改訂への技術協力
 - ◇ 前年度に引き続き、JSがすすめる防食技術マニュアル改訂に委員を派遣し技術協力する。
 - 2) JSの防食技術マニュアル改訂に並行して、防食工事の施工・品質管理の手引き（案）の改訂の検討を開始するとともに、（一財）下水道事業支援センター防食技術委員会に委員を派遣する。
 - 3) 積算基準の適正化への対応
 - ◇ コンクリート防食工事の積算基準を検討する。
 - ◇ 適正な積算基準化への働きかけを、JSをはじめ関係先に行う。
 - 4) コンクリート防食技士制度の基本設計見直し対応
 - ◇ 認定制度専門委員会が行う、制度の見直しに協力し今年度中に確立させる。
 - 5) 1)～4)の事項は、常任理事会と連動し、各部会から委員を選抜するプロジェクトチームで対応する。
5. 部会活動
 - (1) 塗布型ライニング工法部会
 - 1) 積算基準の確立
新設工事及び補修工事の工種ごとに歩掛を作成する。。
 - 2) プライベートライセンス取得時の講習内容の検討
第1種正会員が行うプライベートライセンスの講習内容を水準化を図るため、塗布型ライニング工法の該当部分について検討する。

注) 現在第1種正会員ごとに異なる講習内容の統一化により、レベルの差を無くすることを目的として推進する。

(2) モルタル工法部会

年2回(8月、2月)開催予定の技術委員会にて、耐硫酸モルタル防食工法を含めたモルタル工法全体の普及に向けた具体策を検討するため、モルタル工法部会員に所属する2種会員へのアンケート調査を計画する。アンケート実施予定(9月予定)。

(3) シートライニング工法部会

1) 保証条件の検討

期待耐用年数の確保のため、10年以上の長期保証に対応するガイドラインとして、シートライニング工法の保証条件を整理する。

2) その他

シートライニング工法のメーカーの協力の下に、各工法の工法仕様、品質管理等の調査・研究の成果を今年度中に取りまとめ、防食工事の施工・品質管理の手引き及びコンクリート防食技士事前講習への活用等により、シートライニング工法の普及方を図る。

5. 専門委員会

(1) 広報専門委員会

1) 協会ホームページの更なる充実

会員への有益な情報発信及び業界関係者への協会活動の認知度向上、広報効果を図る。

2) メールマガジンの定期配信

タイムリーな情報を逐次、発信。会員間の情報交換を活発に行う。

3) セミナー開催等の広報活動

① 『防食技術マニュアル』改訂後の説明会実施の広報活動および準備

② 関連業界の新技术や研修等のセミナー開催広報活動および準備

4) 広報活動の充実

知名度・認知度向上のため、業界誌等に技術投稿並びに広告等を順次掲載

5) その他

① 本協会設立10周年記念事業の企画立案及び準備

② 本協会広報誌について意見及び情報収集する

(2) 認定資格専門委員会

1) 事前講習会・認定試験の実施

開催地：東京・大阪・北海道(札幌) *沖縄での開催は、地元会員と協議する。

2) 更新講習会の開催

平成23年度及び22年度(未受講者)資格取得者を対象に実施する。

開催地(予定)：東京・大阪・北海道(札幌)

3) コンクリート防食技士制度の基本設計の見直し

◇講習会、試験内容を基本的に見直しを図る。

◇プライベートライセンスとの重複を回避し、受験者の負担を小さくするなどの改善を目的とする。

(3) 技能検定専門委員会

中央職業能力開発協会が、本年度も当該職種(強化プラスチック成型・積層防食作業)の試験対象とするとの方針により、本協会としては受験希望状況をアンケートにより把握し、開催可否を検討する。

開催予定地は、単独実施を兵庫県とし、樹脂ライニング工業会に東京都での受け入れを要請する。

(4) 賠償保険制度専門委員会

前年度に引き続き、発注者に対し保険加入を発注条件とするよう働きかけを行う。

(5) 防食技術規格化準備委員会

1) JIS A 7502 下水道構造物のコンクリート腐食抑制技術の普及活動

JSの「防食技術マニュアル」の改訂版発刊に合わせて、JIS A 7502を含めた普及活動を、JS、JSA等関係機関と調整の上、実施する。

2) 国際標準化に関する準備業務

下水道施設維持管理関連の国際規格等の調査を実施する。

第4号議案

平成28年度（第9期）収支予算（案）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

収入の部			支出の部		
勘定科目	27年度予算額	28年度予算額	勘定科目	27年度予算額	28年度予算額
I 繰越金	2,226,379	5,715,277	I 事業活動費(1)	3,235,000	4,555,000
			1 総会費	1,300,000	1,400,000
II 事業活動収入の部			2 会議費	400,000	500,000
1 会費収入	10,910,000	11,350,000	① 理事会・常任理事会	150,000	200,000
① 入会金収入	600,000	850,000	② 業務委員会・委員会	250,000	300,000
1種正会員(0団体@120,000)			3 旅費交通費	200,000	1,500,000
2種正会員(15社@50,000)	500,000	750,000	4 会費(下水協・標準化協議会)	155,000	175,000
賛助会員(1社@100,000)	100,000	100,000	5 広告宣伝費	800,000	850,000
② 会費収入	10,110,000	10,425,000	6 印刷製本費	250,000	250,000
1種正会員(15団体@200,000)	3,000,000	3,000,000	7 会誌費(メルマガ)	30,000	30,000
2種正会員(215社@30,000)	6,330,000	6,450,000	8 ホームページ維持運営費		
賛助会員(9社@60,000)	600,000	540,000	9 雑費	100,000	100,000
新規会員(1種:0団体)	0	0	II 事業活動費(2)	1,850,000	2,350,000
新規会員(2種:15社)	150,000	225,000	1 認定資格試験費	1,500,000	1,500,000
新規会員(賛助:1社)	30,000	135,000	2 技能検定講習・試験費		850,000
③ 臨時会費収入	200,000	75,000	3 技術協力		
総会臨時会費(@5,000*40)	200,000		4 新規事業(セミナー等)	350,000	
			III 賠償責任保険	1,820,100	3,033,500
2 事業活動収入	3,800,000	4,350,000	1 預り保険料支払い(計画:50件)	1,820,100	3,033,500
① 認定試験受講受検料(更新含)	3,300,000	3,500,000	IV 事業人件費	1,800,000	2,000,000
② 技能検定講習・受検料	0	850,000	V 管理費	9,831,080	10,886,080
③ 技術協力費	0		1 人件費(事務局)	4,100,000	4,250,000
④ 新規事業(セミナー等)	500,000		2 事務所賃借費	2,566,080	2,566,080
3 賠償責任保険	5,565,000	6,678,500	3 旅費交通費	500,000	500,000
① 保険料預り金(計画:50件)	2,730,000	3,033,500	4 通信費(電話・URL・郵便)	350,000	450,000
② 取扱手数料等	2,835,000	3,645,000	5 事務用品費	100,000	100,000
			6 什器備品費(リース等)	750,000	950,000
4 雑収入	260,850	301,000	7 図書新聞費	20,000	30,000
① 利息	850	1,000	8 租税公課(法人住民税等)	85,000	70,000
② 販売手数料(手引き・JIS冊子)	250,000	300,000	9 事務委託料(税理士他)	400,000	400,000
③ その他雑収入	10,000		10 支払手数料	280,000	200,000
④ 源泉預り金			11 法定福利費	600,000	750,000
⑤ 法定福利費預り			12 退職金積立金		120,000
			13 法定福利費預り金支払い		
			14 源泉預り金支払い		
			15 雑費(災害義援金・見舞金含む)	80,000	500,000
			(支出計)	18,536,180	22,824,580
			予備費	4,226,049	5,570,197
収入の部合計	22,762,229	28,394,777	支出の部合計	22,762,229	28,394,777

第5号議案

役員辞任・交代承認の件

1. 役員改選

今年度は役員改選時期ではないが、役員の病気療養及び会員団体からの退職に伴う役員の辞任申し入れのため、該当役員の辞任と新任役員候補者就任の承認を諮るものである。

2. 退任役員

役職名	氏名	所属団体	退任理由
理事 (副会長)	中村 耕一	コニシベシステム工業会連合会	病気療養
監事	三枝 賢次	下水道防食協会	退職

3. 新任役員候補

役職名	氏名	所属団体
理事	榎本 真也	コニシベシステム工業会連合会
監事	小泉 英昭	下水道防食協会

第 6 号議案

名誉会員称号授与の件

定款第 3 章

「第 8 条「本協会の目的達成に多大の貢献をした者、又はコンクリート防食技術に関し、その進歩発達に功績顕著な者は、総会の議決を経て名誉会員の称号を贈ることができる。」

の規定に則り、本協会運営と目的達成に多大の貢献をされ、志半ばで残念ながら病気により退任を余儀なくされた、以下の 1 名に名誉会員の称号を贈りたく推薦する。

氏 名	退任時役職	所属団体
中村 耕一	副会長	コニシベシステム工業会連合会